

# 平田ロータリークラブ 週報

発行日 毎週木曜日

平成19年2月8日

No.1597

## 率先しよう

国際ロータリー会長 ウィリアム・ビル・ボイド  
第2690地区ガバナー 新宮彦助

△事務局▽

島根県出雲市平田町 2280-1  
平田商工会議所 2F TEL 0853-63-3232  
FAX 0853-63-5365  
IP 050-5204-5816  
A.M. 9:00 ~ P.M.5:00 土・日曜・祝祭日休局  
E-mail hiratarc@hit-5.net

会長 加藤喜久 副会長 田中久雄  
幹事 荒木 貫 会計 金田卓也

## 例会プログラム

例 会	卓 話 者	演 題
第1597回	島根県立看護短期大学 学長 瀬戸武司様	気候変動と生物-地球温暖化で海産物が減る?-
第1598回	宮本食品興産(株) 代表取締役 宮本陽吉様	漬物あれこれ
第1599回	医学博士 羽根田紀幸様	モンゴル医療ボランティア

## 出席報告

会 員 数	出 席 者 数	欠 席 者 数	出 席 率	前 回 補 正 率
48	37	11 (2)	80.43	91.49

欠 席 者 飯塚大・園山・名原・石橋・黒田・玉木・堀江・原光・持田 (森山・石原恵)

来 訪 者 松本 (出雲南)

## 幹事報告

1. 国際協議会参加中の森下和郎ガバナーエレクトより2007~2008年度R Iテーマ「ロータリーは分かちあいの心」の報告をいただきました。
2. 2007~2008年度版ロータリー手帳の注文  
ご希望の方、お申し込み下さい (本日回覧)

## 委員会報告

〈ロータリー情報〉家庭集会日程表の配布

## スマイル

松本 (出雲南) 初めておじゃま致しました。よろしく願い致します。

榎野 出雲南RC松本様のご来訪を歓迎して。

藤井 スピーカーに瀬戸学長をお迎えして。

2月22日例会受付当番

石橋一彦・内田節夫・渡部直人

★松江南クラブ (月)  
★出雲中央クラブ (月)  
★松江しんじ湖 (火)

★出雲クラブ (火)  
★松江クラブ (水)  
★大社クラブ (水)

★平田RAC (第1・3水)  
★松江東クラブ (木) 2/22  
★出雲南クラブ (金)

## 会長挨拶

最近、耳慣れない言葉ですが「食育」という言葉を良く聞きます。遠足にコンビニ弁当を持たされる小学生、家族団らんから遠ざかる中・高生、お米を洗剤で研ぐなど調理知識の薄い大学生……。そして偏食、肥満、味覚異常、アレルギー、生活習慣病など家庭料理の崩壊が進み、乱れた食が子供たちを蝕んでいるといわれています。「ムカつく」、「キレル」といった問題も食と密接な関係があります。また今の子供たちは硬いものを嫌い、その結果成長期にあごが育たず、噛み合わせが極端に悪くなり、そのために骨格を崩し、ひいては体力が低下して集中力が落ちたり、無気力になる子供が増えているといわれています。

そこで、子供たちの食生活の改善だけでなく、優れた日本の食文化の継承、地域の特性を生かした食生活に配慮することなどを訴え、健全な食生活を実感できる人を育てる（＝「食育」）ために、平成17年に「食育基本法」が制定され、県では「島根県食育推進計画」を策定する準備が進められています。また出雲市においても市報「広報いずも」に「食育だより」をシリーズで連載して、地産地消のすすめなど食育の重要性を市民に強く呼びかけています。

一方アメリカでも同様の問題などで、今から30年前の1977年に「食生活改善計画」を発表し、米国民に肉より魚をなどとヘルシーな食生活を呼びかけています。その結果、ヘルシーといえば日本食が一番ということで、寿司、豆腐など日本食ががぜん大評判になり、今ではアメリカはもちろんのこと世界中で大ブームになっています。

健康な毎日を過ごすために地域力を十分生かした島根らしい、出雲らしい食育を進め、健やかで豊かな生きる力を育む……。島根県では、できることからぜひ取り組みましょうと広く県民に訴えています。

## スピーチ



## 気候変動と生物

### —地球温暖化で海産物が減る？—

島根県立看護短期大学

学長 瀬戸 武司 様

#### プランクトンによるCO<sub>2</sub>の吸収

- ・海洋の表層部で植物プランクトンが光合成
- ・1年間で約900億トン进行吸収
- ・その死骸がバクテリアの分解を受け1000mの水深に炭素として蓄積  
1平方メートルあたり約4.7g/年  
動物プランクトンは約4.3g/年

#### 海洋の植物プランクトンの減少

2006年12月NASA発表

- ・海面水温の上昇は植物プランクトンの減少をもたらしている（10年間の衛星観測の結果）
- ・この現象は中低緯度の広い範囲でみられる
- ・地球を南北に1080区画、東西に2160区画でプランクトン量を毎日観測
- ・別の観測衛星で海面の水温の変化を長期にわたり観測

#### 大気中のCO<sub>2</sub>

##### 海水に溶解光合成により吸収

- ・増殖した植物プランクトンは動物プランクトンのエサとなる
- ・動物プランクトンや動物の死骸が分解されて窒素やリンとなる⇒海の底に沈む
- ・栄養物N、Pは深海水の上昇によって表層へ⇒「生物ポンプ」
- ・これらの栄養物が魚類、貝類、甲殻類等のエサに

#### 海面の温度上昇は湧昇を低下させる

- ・表層水と深層水の温度差が大きくなると海水が混ざりにくくなる
- ・深層の栄養分が表層に供給されない
- ・表層のN、Pの減少は植物プランクトンの増殖をとめる（CO<sub>2</sub>の吸収量が減る⇒温暖化が加速）
- ・漁獲量の減少を招く
- ・哺乳類や鳥類が減り生態系全体に悪影響

プランクトンの減少に端を発した生態系の変化は、生物の多様性を減少させ、その結果、食生活の維持ができなくなったり、天然由来の成分に依存している医薬品開発をさまたげたり、大きな影響をもたらす可能性があります。